



写真提供：星野リゾート



【資料8】

2021年2月5日

National
Parks
of Japan



国立公園等における ワーケーション推進の取組状況

環境省 自然環境局 国立公園課



写真提供：Aman



	申請状況	採択案件
誘客（ワーケーション関連含む）	713件	350件
ワーケーションの推進	396件	128件
ワーケーションの環境整備	78件	23件
合計	1,187件	501件

○自然体験アクティビティ等を行う事業者やDMO（観光地域づくり法人）等に対し、国立公園の誘客のためのエコツアー等の企画・実施および海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備を補助

○国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、ワーケーションツアー等の企画、実施、プロモーション、Wi-Fi等の環境整備を補助

○ワーケーション関連の申請（WiFi環境の整備、モニターツアーの実施、ワーケーション参加者向けのアクティビティ開発等）として合計271件、約9億円を採択



阿寒摩周国立公園における ワーケーションの取組事例



あかん湖鶴雅ウイングス
WINGS

- ・ホテル内のスペースを改修し、ワーケーションスペースを設置

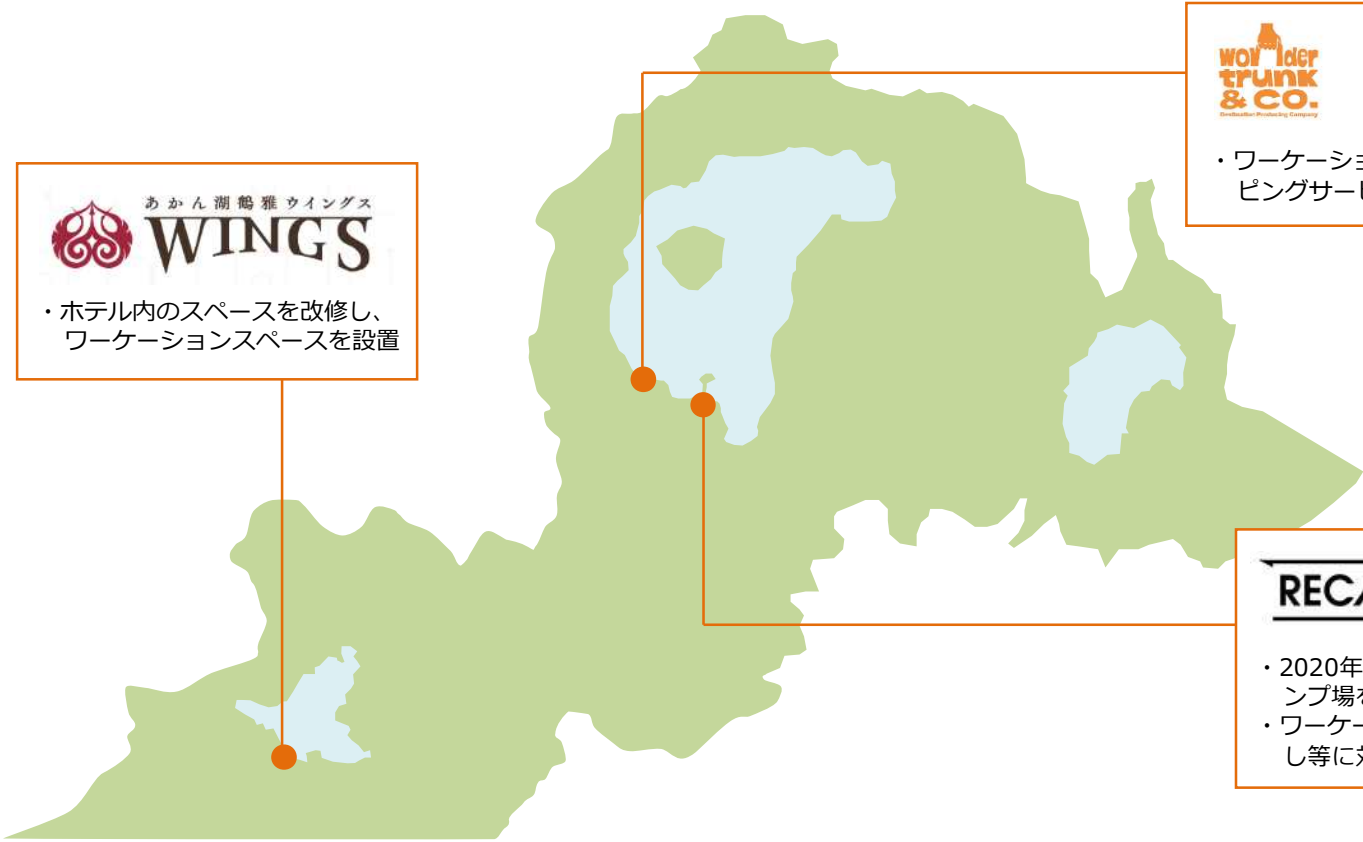


Worldeer
TRUNK
& CO.
Outdoor Products Company

- ・ワーケーション対応可能なグランピングサービスの展開

RECAMP

- ・2020年度より環境省直轄キャンプ場を管理
- ・ワーケーションセットの貸し出し等に対応

















【令和2年度3次補正予算（案）2,993百万円】

＜参考：令和2年度補正予算3,000百万円（国立公園等への誘客・ワーケーションの推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保）＞

国立公園等での誘客やワーケーションの推進によりライフスタイル変革と地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ①国立公園等で「遊び、働く」という健康でサステナブルなライフスタイルを推進し、地方創生に貢献。
- ②感染症対策を徹底した上で、国立公園、国民保養温泉地等において魅力的な冬期・春期のツアー等やワーケーションを実施することで、新型コロナウイルス感染拡大により減退した公園利用の反転攻勢と地域経済の再活性を図る。

2. 事業内容

新型コロナウイルスにより、国立・国定公園及び国民保養温泉地では、観光事業者等に甚大な影響が出ている。一方、自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、国立公園等は大きなポテンシャルを有している。

①国立・国定公園での滞在型ツアーの推進

地域一体となった自然体験型のツアー等の企画・実施・準備、海岸清掃・修景伐採等の環境整備、感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。

②国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進

地域一体となったワーケーションの企画・実施、Wi-Fi等の環境整備、パーティーやCO2濃度センサー設置等の感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。

③国内外向けプロモーション

国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（定額、1/2、2/3）、請負事業
- 補助対象 地方公共団体・民間事業者（山小屋等）・団体・協議会等
- 実施期間 令和2年度

4. 事業イメージ



・自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、それを踏まえたツアー等の造成を支援



・感染症対策を徹底した温泉宿等のワークスペースで健康かつクリエイティブに働けるワーケーションを推進



・各地域で滞在型ツアーやワーケーションを推進し、国立公園等の魅力とともにプロモーション